

研究プロジェクト状況報告

教育課程の経営に関する研究

経営研究部

菅野家作

はじめに

当教育センターが、昭和56年度より3か年の継続研究として取り組んできた本研究も、いよいよ最終年度の第3年次を迎えた。これまでの研究の経緯については、紀要第45・50号により紹介したところであるが、本年度は、教育現場の教育課程経営の改善・充実に真に役立つ研究として、3年間のまとめを目指し研究を進めている。以下、14名のプロジェクトチームによる研究推進状況の一端を紹介する。

1. 本年度の研究構想

本年度は、第2年次の研究において明らかにされた成果と課題をふまえ、①「教育課程経営の基本的事項の整理－理論編－」②「教育課程評価票（試案）及び評価表の開発－実際編－」③「教育課程経営の実践事例の収集－資料編－」を主軸に研究を進めている。本年度の研究構想並びに研究の概要を要約すれば次の表のようになる。

	①理論編－教育課程経営に関する基本的事項	②実際編－評価用具	③資料編－実践事例
本年度 研究の 課題	課題1 第1年次理論（教育課程経営の意義・機能他）と第2年次理論（経営的発想に基づく教育課程の評価他）の整理	課題3 教育課程評価票（試案）の研究協力校における試行調査結果に基づく内容の吟味・検討－完成	課題6 教育課程経営の実態調査の整理と有効な実践事例の収集
	↓	↓	↓
	課題2 第3年次理論研究（教育課程改善の意義・要件・方法他）	課題4 教師一人一人の日常の評価活動に役立つ各教科・領域等の評価表の開発	
研究 方法	課題5 教育課程評価票（試案）活用及び自校化の解説	↓	
	研究への取り組み1 ①「教育課程経営」に関する理論プロットを確立する。 ②教育現場の教師一人一人に、より広く理解してもらえるよう、わかりやすい表現で要約する。	研究への取り組み2 ①教育課程評価票（試案）試行調査結果より改善への方向性をさぐる。 ②プロジェクトチームによる各評価対象ごとに吟味・検討を加え完成する。 ③日常の評価活動に役立つ評価表をより多く開発する。	研究への取り組み3 ①第1・2年次研究協力校より得た実践・事例を整理する。 ②第1・2年次紀要の資料編掲載内容にさらに改善を加える。 ③第3年次研究協力校より、理論編・実際編にあわせ意図的に事例を収集する。
第3年次 研究紀 要構 想	↓	↓	↓
	研究の 基盤 ①学校経営と教育課程の経営 ②教育課程経営の意義・機能 ③経営的発想に基づく教育課程経営 ④教育課程評価の意義 ⑤教育課程評価の周辺－アカウンタビリティの問題・教育評価の問題 ⑥経営的発想に基づく教育課程評価 ⑦教育課程評価の実施方法 ⑧教育課程改善の意義・必要性 ⑨教育課程改善の要件・方法	評価の 用具 論 ①「教育課程評価の構想－評価対象要素観点の決定」 ②「教育課程評価のための資料収集－教育課程評価表の開発」	教育 課程 経営 の 実 際 ①「教育課程経営」に関する第1・2年次調査の整理 ②本研究理論との全体考察
		試行 調査 ①「教育課程評価票（試案）」の試行調査 ②同上集計・考察	③第3年次研究協力校よりの実践事例の整理 ・教育課程の編成 ・教育課程の実施 ・教育課程の評価
	実 際 ①「教育課程評価票（試案）」 ②同上 使用方法についての解説 ③教育課程評価表（案）		
	本 研 究 の ま と め		